



らくすいらくざん 樂水樂山

第166号

令和7年2月21日発行

今回が今年度最後の発行となります。第167号は4月に発行しますのでどうぞお楽しみに！

「地域創造学」1年成果発表会 2年中間発表会！

今年度の「地域創造学」もまとめの時期を迎えました。1月15日（水）に1年成果発表会と2年中間発表会が行われ、これまでのアクションについてふりかえりました。当日は外部の方々からもアドバイスしていただきながら、次のアクション計画立案のヒントとする良い機会が得られました。こうして得られた課題を元に、「計画立案・実施・ふりかえり」という各自の探究サイクルを回していければ、確実に良いものが創れると思います。

それぞれ次の発表に向けて3月中にアクションを起こしましょう！



ビジネスプランコンテスト 2024 奨励賞受賞

気仙から世界へ ～高校生の力で未来を変える！～

ダンス同好会

1月26日（日）午後1時より大船渡市民文化会館マルチスペースにてビジネスコンテスト2024が開催されました。一次審査を通過したドリーム部門高校生の部5チーム、一般3チーム、ビジネス部門法人3チームが登壇。本校からは1年生が今年立ち上げたダンス同好会グループが「気仙から世界へ～高校生の力で未来を変える！～」と題し、気仙管内の学校がコラボしてつくる学校行事を提案しました。緊張していると言いつつも堂々たるプレゼンを披露し奨励賞を受賞。実行委員会事務局の牧野さんや、プランのブラッシュアップに力を貸して下さった浦山氏、河原氏、会場でお会いした大人の方々との交流が何より楽しかったとの言葉に、やはり人との繋がりから生まれる化学反応ほど、面白いものはないのだと思いました。



すみたあつもりミーティング

高校生と町議会議員、まちの将来像語る

住高生と住田町議会議員との意見交換会が2月4日（火）町生活改善センターで開かれました。会には総勢およそ20名が参加。参加した及川桃花さん（3年）、紺野爽介さん（2年）、金野恵人さん（1年）が町独自の教科「地域創造学」で学習した内容を踏まえ、地域の魅力を紹介してきました。及川さんと紺野さんは、小中学校の給食費無償化や小規模校ならではの取り組みを実施できる住田高校の環境に着目。「入学後に人前で話す機会が増え、自信を持つことができた」と成長の成果を披露しました。また、金野さんは町の花であるアツモリソウを取り上げ、活性化につなげる構想を発表しました。この会は、若い世代の意見を町政に反映させようと町教委が初めて企画したものです。佐々木春一議長は「自然との関わりや住民の人柄の良さなどをアピールし、3人の成長が感じられた。意見交換をきっかけに住田高に入学しようという子どもたちの機運が高まってくればうれしい」との願いを話されていました。（2月12日 岩手日報記事より）

1 階と 2 階でチェック！ホットなニュースがここにある

皆さん、校舎の 1 階と 2 階に掲示されている「朝日写真ニュース記事」を読んでいますか？これらのニュース記事は、株式会社朝日写真ニュース社が発行しており、地域社会の活性化に寄与するメディアとして、朝日新聞東京本社と朝日学生新聞社が発行する各種の刊行物を取り扱っています。

本校では、毎週送られてくる 4 枚 1 組の写真ニュースを専用の掲示板に掲示しています。これにより、私たちは最新のニュースや写真を通じて、社会の動向や出来事を学ぶことができます。

この写真ニュース記事と専用掲示板は、地元企業である住田フーズ様から寄贈されています。住田フーズ様は、これまで長い間、住高生のために支援を続けてくださっています。このような支援に感謝し、ぜひ皆さんも掲示されているニュース記事を読んでみてくださいね。

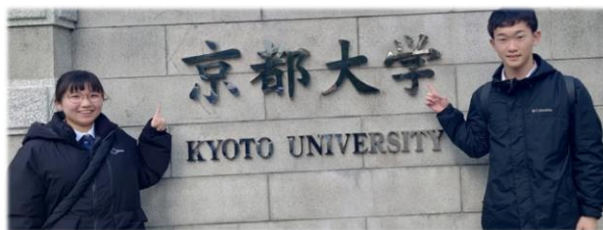


『地域創造学』を極めたら

京都大学で発表してた・・・？

魅力化協働サポーターである「ふるさと創生大学」からお話をいただき、2月9日（日）京都大学での『国際文化政策研究交流集会』に及川桃花さん（3年）、紺野爽介さん（2年）が参加しました。高校生の参加は今回が初ということもあり、大きな話題を呼んでいます。2人はこの会で、小学校からこれまでの 12 年間にわたる「地域創造学」の学びを発表しました。内容については住田高校 note に詳しく掲載されていますのでチェックしてください。

身近にあること・ものについて学びを積み重ねた結果、その学びは全国レベルに達していた……。この貴重な経験を通じて、地域に根ざした学びの重要性を再確認し、さらなる挑戦を続けて欲しいと思います。



住高に警察官人形がやってきた！

運転手に安全運転を促すため、およそ 30 年前から設置されている住田町の「警察官人形」。経年で塗装が剥がれ落ち、ひび割れも進んでいたため、関係者と連携して住高生が補修を担当します。2月12日（水）の引き渡し式では関係者約 30 人が出席し、人形を眺めながらリニューアルの日を心待ちにしました。今後は表情のデザインや人形のネーミングなどを考え、3月末までに塗装を完成させる予定。令和7年度春の全国交通安全運動期間中でのお披露目が今から楽しみです。



詳しい情報は
Note から！



住高ハウス〇〇

まるまる通信

住高ハウスの
情報をまるっ
とお届け！

【住田町世田米の奇祭 水しぎに住田高校生 5 人が初参加！】

1月24日(金)約200年前から続く火伏のお祭り「水しぎ」が今年も開催されました。

今年度初めて住田高校から1年生が4人、2年生が1人の5人が参加しました！

「見っさいな、見っさいな！」の掛け声とともに、大黒舞のお囃子に合わせて空き缶を打ち鳴らしながら、跳ねる姿は、顔に施した白塗りと奇抜な恰好も相まってインパクト大！

水しぎは一日かけて世田米地区にある保育園、小中高校、地域の施設、企業、各家々を火防のお札を配りながら訪問します。愛宕地区「一の会」の先輩方に教えていただきながら、高校生も若いパワーで一日頑張りました！生徒は自分たちの通学する地域、暮らしている地域の伝統行事に参加することで、また新たな住田の魅力を体感することができました。教育コーディネーターは地域の皆様に支えていただきながら、多様な出会いの創出につながる機会を今後もコーディネートしていきたいです！



【今年度ラストのレクデーは えさし藤原の郷へ卒業旅行！】

2月15日(土)お天気に恵まれた一日。入学以来レクデー皆勤賞の3年男子生徒のリクエストに応じて、レクデーの企画としては初めて奥州市へ進出！「えさし藤原の郷」へ卒業旅行に行ってきました。ほとんどの生徒が初めての来訪。教育コーディネーターや魅力化サポーターは家族連れで参加する者もいて、総勢12人と和気あいあいとした雰囲気でした！

日本唯一の寝殿造りを再現した【伽羅御所】をはじめとした、120棟の建物も見応えがあり、更に雪景色は風情がありました。その中で、武士になった気分で弓矢体験をしたり、甲冑や時代衣装を着て写真撮影をしたりと、思い思いに楽しんできました♪広い園内をたくさん歩いた後は、おしゃべりしながらランチタイム。家族や友人にお土産も買って大満足の1日となりました。



【住高ハウス〇〇 短期インターンシップ受け入れ】

大学生 OB・OG による在校生への講話を授業の中で行いました！

2月19日(水)盛岡大学3年佐々木優弥さん、北海道教育大学函館校1年佐々木好香さんを住高ハウス〇〇の短期インターン生として受け入れました。3年生は自由登校期間のため、1、2年生の在校生向けにお話いただきました。住田高校在学中に経験したこと、当時の興味関心が現在の学びや進路選択に活かしているというお話、いま高校生に伝えたい想いを率直に語ってもらいました。

